

個人質問

議会事務局 処理欄	令和7年5月15日 8時30分 受付
	質問順位 第6番

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 石川 喜次

一般質問の通告について

令和7年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 町長選の立候補について	<p>【趣旨説明】</p> <p>鳥羽町長におかれましては、先の町長選において、自身の経験をもとに、「頼る家族がいなくても、子育てしやすく、老後も支える武豊」を目指すと呼びかけ見事当選されました。改めましてお祝い申し上げます。</p> <p>この6月定例会は、これまでの議員として質問する側ではなく、町長の立場で質問を受ける初めての場となります。町長の支援者に限らず、多くの町民の皆さまが期待や不安を抱くなど注目されています。町長自身も緊張とともに、この場がまたとない機会と捉えられ、今定例会に望まれたことと思います。</p> <p>先の町長選の選挙公報によれば、基本政策6項目の方向性と11項目の施策の実施について、町民の皆さまに対し公約をされておられます。これらの中には、町単独ではできない事業や武豊町の財政に大きく影響を与えるものなどに照らし合わせたとき、実現するには大変困難な公約もあると私は感じております。</p> <p>中には町民の皆さまにとって非常に耳あたりの良い公約もあり、特に今回の町長選に大きな影響を与えたと思われる「町民税の減税」や「町長給与の減額」の公約については、町民の皆さまとの約束であり、町長とし必ず実現しなければなりません。</p> <p>その一方では、これから先進事例の聞き取り等を行うとの声もお聞きしておりますが、事前にどこまで研究をされた上で、実行可能と判断し公約をされたのか、疑問を感じております。</p> <p>公約が守られなかったでは済まされるものではありませんが、公約だからと言って直ちに実行するのではなく、今後十分調査研究をし、真に町民の皆さまのためになる政治判断をしていただくことを要望しておきます。</p> <p>そこで、鳥羽町長は先の町長選に議員として任期を2年残しながら辞職により立候補されましたので、その真意について質問をします。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 町長に立候補された動機、思いは何だったのかお伺いする。</p> <p>② 鳥羽町政としては、今後どこに重点を置き、どこを軽視して施策を進められるのかお伺いする。</p>
2. 副町長の選任について	<p>【趣旨説明】</p> <p>町長の公約の一つに、女性副町長を登用するとしております。私自身は女性の登用について特段の異義はございませんが、「暮らしの声を活かすため」と女性登用の理由としていることには、副町長の職務をどこまでご存じかいささか疑問を感じております。</p> <p>私は副町長の選任は、町長の最初でかつ最も重要な人事だと捉えており、国や県、関係市町との連携強化、地元企業や事業者などとの協力・連携関係、町民や職員との信頼関係の構築など、多岐にわたって長けた人物であって欲しいと考えております。特に町長は行政経験がありませんから、なおさら強く感じております。そこで以下質問をします。</p>

【質問事項】

- ① 鳥羽町政における副町長の果たす役割はどのようなものとお考えかお伺いする。
- ② 副町長の女性の登用の考えは今でも変わらないのかお伺いする。
- ③ 内部登用や外部登用など人選にあたってのお考えをお伺いする。
- ④ 副町長の選任について、現時点の状況をお伺いする。
- ⑤ 町政を停滞することなく運営するためには、副町長の選任は早急に進めなければならないと思うが、その選任の時期をお伺いする。